

**新型インフルエンザ
対応マニュアル**

岩手県立宮古高等学校

平成21年 8月

1 はじめに

本マニュアルは、新型インフルエンザ発生の未然防止を図るとともに、発生した場合における迅速かつ的確な対策の実施と感染拡大を可能な限り防止し、生徒及び職員の健康被害を最小限にとどめ、生徒の学習環境の安定を確保することを目的とする。

なお、本マニュアルは新型インフルエンザを対象としたものであるが、季節性インフルエンザにおいても準用するものとする。

2 未然防止のポイント

1 職員の共通理解

新型インフルエンザに関する正しい認識を持ち、情報を共有するとともに、発生時の連絡及び対応などの校内危機管理体制を確立して共通理解を図る。

2 日常の健康観察

- (1) クラス担任及び教科担任並びにクラブ顧問の観察を徹底し、問診や検温等が必要であると思われる生徒がいる場合は養護教諭へ連絡する。
- (2) 欠席、遅刻、早退の生徒の事由を確実に把握する。欠席等の事由を出席簿へ記入することが望ましい。

3 予防の推進

- (1) 生徒及び職員が「うがい、手洗い、換気」を徹底し、規則正しい生活（睡眠、栄養）、マスク着用の習慣化を図る。
- (2) 必要な物品を備蓄する。
例：サージカルマスク、石鹼、手指消毒用アルコール、ディスポーザブル手袋、ペーパータオル等
- (3) 校長は、情報収集と周知方法の確立について検討し、また発生した場合に備え感染拡大防止のための校内対策委員会を設置する。

3 感染の疑いが発生した場合

1 疑われる症状

38℃以上の発熱と以下の1つ以上の症状を呈した場合

- ア) 全身倦怠感
- イ) 関節痛
- ウ) 鼻水・鼻づまり
- エ) 咽頭痛
- オ) 咳

2 学校で発症した場合

(1) 症状の確認

生徒の対応にあたる職員は、マスク、手袋等で感染防御のうえ当該生徒の体温を測定し、上記の「疑われる症状」の有無について確認する。

(2) 生徒の一時的隔離

「疑われる症状」が確認された生徒にマスクを着用させ、他の生徒と接触させないように別室で休ませる。

(3) 当該生徒の保護者への連絡

クラス担任または副担任が当該生徒の保護者へ状況を電話連絡する。クラス担任及び副担任が不在の場合は学年団の職員が連絡する。

(4) 学校医への連絡

養護教諭が学校医へ連絡する。養護教諭が不在の場合は、厚生課職員が連絡する。

(5) 医療機関移送及び下校方法

保護者が学校へ迎えに来た後、医療機関へ連れて行くことが原則であるが、それが困難な場合には受診する医療機関にあらかじめ電話連絡をした後、学校からタクシーを利用してかかりつけ医または学校医（豊島医院）へ移送する。

3 自宅で発症した場合

(1) 学校への連絡

保護者がクラス担任または副担任へ電話連絡する。生徒本人ではなく保護者からの連絡を徹底する。前項の「疑われる症状」を呈している場合は登校させない。

(2) 医療機関受診

保護者は、受診した医療機関名及び診断結果並びに主治医の指示等をクラス担任または副担任へ電話連絡する。

4 特別措置

新型インフルエンザ感染の疑いがある（前項の「疑われる症状」を呈している）ため学校を欠席または早退をし医療機関を受診した場合は、出席停止扱いとする。検査の結果、陰性であっても「インフルエンザ様疾患」と見なし、同様に扱う。ただし、電話連絡は必ず保護者とクラス担任または副担任が直接行う。

なお、自宅療養期間及び学校への復帰日は主治医の指示に従い、その内容も保護者がクラス担任または副担任へ電話連絡することとする。

[参考] 学校保健安全法

第十九条 校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

[参考] 学校保健安全法施行規則

第二十一条 校長は、学校内において、感染症にかかっており、又はかかっている疑いがある児童生徒等を発見した場合において、必要と認めるときは、学校医に診断させ、法第十九条の規定による出席停止の指示をするほか、消毒その他適当な処置をするものとする。

2 校長は、学校内に、感染症のウイルスに汚染し、又は汚染した疑いがある物件があるときは、消毒その他適当な処置をするものとする。

3 学校においては、その付近において、第一種又は第二種の感染症が発生したときは、その状況により適当な清潔方法を行うものとする。

4 感染者が発生した場合

1 出席停止

校長は、感染者へ出席停止を指示する。

自宅療養期間及び学校への復帰日は主治医の指示に従い、その内容も保護者がクラス担任または副担任へ電話連絡することとする。

2 関係機関への報告

(1) スポーツ健康課及び保健所

以下の条件のいずれかに該当した場合、副校長が電話連絡をし、養護教諭が文書での報告を行う。

ア 学校内にインフルエンザ（A型）による欠席者が1名以上いる場合

イ 同じクラス内に発熱や咳などインフルエンザ様症状による欠席者または早退者（職員を含む）が7日以内に2名以上いる場合（簡易迅速検査でB型の場合は除く）。

ウ 出席停止（インフルエンザ患者・疑われる者）が行われた場合（簡易迅速検査でB型の場合は除く）。

エ 休校・学年閉鎖・学級閉鎖等臨時休業の措置が行われた場合

(2) 学校医

養護教諭が学校医へ報告を行う。

3 全職員への周知徹底

- (1) 感染者の特定（氏名、クラス、クラブ、住所、登下校方法、家族構成、最終接触日時）
- (2) 感染者から感染範囲を推測し、感染拡大防止指導の強化を図る。
- (3) 職員が「疑われる症状」を呈している場合にも速やかに医療機関を受診する。

4 緊急 HR の実施（新型インフルエンザに限る）

- (1) 生徒及びその家族の健康状態の把握
 - ア 健康調査票への記入 ※資料参照
 - イ 「疑われる症状」の有無の確認、受診指示
- (2) 感染拡大防止の指導強化

5 プライバシーの保護

当該生徒やその家族及び接触者に対してプライバシーの保護に十分配慮する。

6 休校、学年閉鎖、学級閉鎖等

罹患率が急激に上がった際、地域における流行状況を考慮のうえ学校医と相談し、必要と認める場合には時期を失することなく措置を講じる。

7 情報収集と周知

- (1) 生徒及び保護者に対して県内における新型インフルエンザ発生状況や感染予防について正確な情報を提供し、適切な判断、行動ができるよう周知する。
- (2) 学校医や保健所等から地域の感染状況について情報収集を行う。
- (3) 学校ホームページや電話等を活用し、保護者に対して確実に情報を提供し、感染予防対策について周知する。

8 学校の清掃、消毒

感染防御対策（マスク、手袋、防護服着用）をとったうえで、次亜塩素酸ナトリウム、イソプロパノール、消毒用エタノール等をペーパータオルにしみ込ませ、流し場や水道の蛇口、階段の手すり等の拭き取り消毒を行う（消毒液の噴霧はしない）。

この拭き取り消毒は学校医または学校薬剤師の指示に従い、慢性疾患のある職員及び妊娠中の職員を除いた全職員で行う。健康で体力に自信のある職員が望ましい。

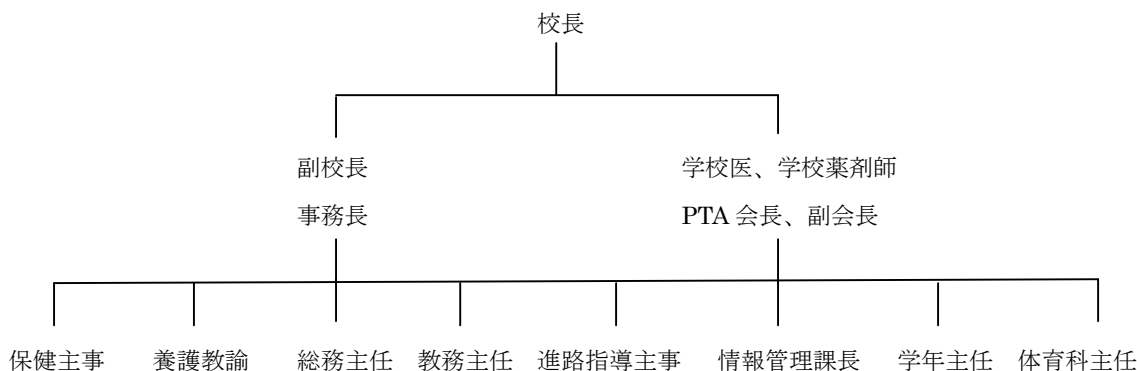
9 慢性疾患のある生徒への対応

主治医の指示に従うよう指導し、主治医からの指示が「自宅待機（自宅学習）」の場合はその期間を出席停止扱いとする。

10 関係機関連絡先

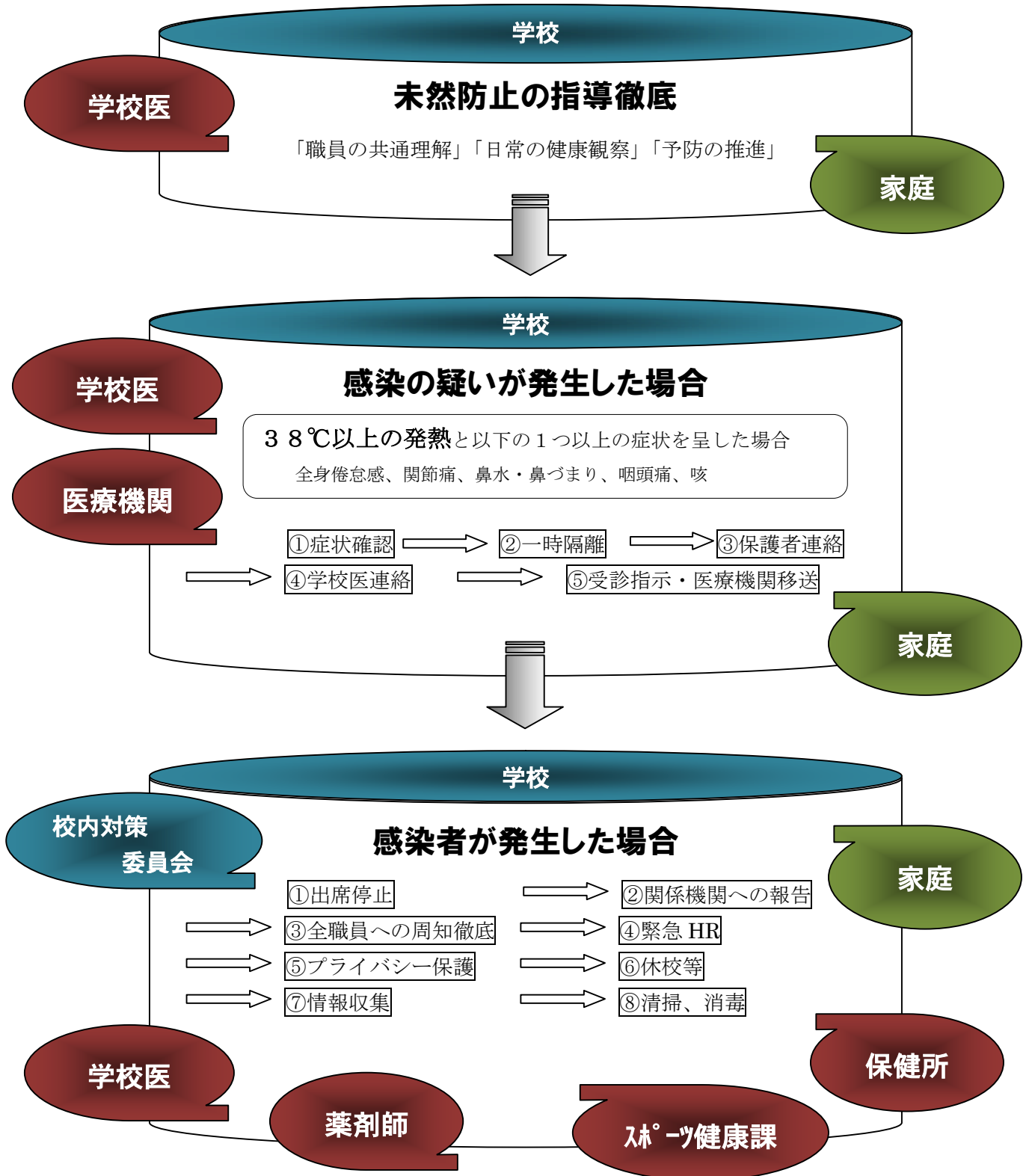
関係機関名	電話番号	FAX 番号
県庁保健衛生課	019-629-5466	019-629-5474
県教委スポーツ健康課	019-629-6193	019-629-6199
宮古保健所	0193-64-2218	0193-64-7014
豊島医院（学校医）	0193-62-2515	0193-64-3902
菊屋薬局（学校薬剤師）	0193-82-3224	0193-82-0133
健康堂薬局	0193-62-3311	0193-62-3313

5 校内対策委員会



	主な役割
校長	総括、臨時休業に関する事、職員の勤務に関する事
副校長	状況把握、連絡調整、学校行事開催の検討、職員の連絡方法の検討
事務長	学校施設の維持管理に関する事、消毒薬や衛生用品等の備蓄品に関する事
保健主事	校内の感染防止対策、衛生管理に関する事
養護教諭	未然防止に関わる指導、感染拡大防止に関わる指導、欠席者の把握、校内での感染者発生時の対応、関係機関への文書報告、学校医や保健所との連絡調整、保護者への文書作成
総務主任	保護者、地域との連携に関する事
教務主任	生徒の出欠席状況の把握と整理、閉鎖時の学習に関する事、生徒の学習の確保、課題等の検討及び準備
進路指導主事	流行期の進路指導に関する事（情報の収集、伝達等）
情報管理課長	学校ホームページ更新に関する事
学年主任	閉鎖中の生活指導、課題の配布方法等の検討
体育科主任	健康管理、クラブ活動に関する事
学校医	生徒の臨時健康診断、保健衛生指導、助言
学校薬剤師	消毒、衛生に関する事
PTA 会長、副会長	保護者への情報提供、協力要請に関する事

6 資料編



※感染者が発生した場合の健康調査票（全校生徒対象）

健康調査票

年 組 番 氏名 ()部

1 住所

2 登下校方法

登校(徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ 列車)

下校(徒歩 ・ 自転車 ・ 車 ・ 列車)

3 家族構成

続柄	同居・別居	年齢(学年)
	(同 ・ 別)	歳 (年生)
	(同 ・ 別)	歳 (年生)
	(同 ・ 別)	歳 (年生)
	(同 ・ 別)	歳 (年生)
	(同 ・ 別)	歳 (年生)

4 ここ最近10日以内の体調はどうですか？○印をつけてください。

(異常あり ・ 異常なし)

※「異常あり」に○印をつけた人はどのような異常なのかあてはまるものに○印をつけてください。

ア 37.5℃以上の発熱(_____月 _____日 _____℃)

イ 頭痛 ウ 全身倦怠感 エ 関節痛 オ 鼻水・鼻づまり カ 咽頭痛

キ 咳 ク 寒気 ケ 腹痛 コ 吐き気・嘔吐 サ 下痢

シ その他 (_____)

5 ここ最近10日以内に家族の中に37.5℃以上の発熱があった人がいますか？

(いる ・ いない)

6 その他、身近な人のインフルエンザ感染や他地域の人との接触等インフルエンザに関係することがあれば記入してください。
